

歳出 (町の支出)

質疑

に、6次産業化戦略検討会を設置。お互いの情報共有をはかり、進めていく。

園芸作物どう進める

金田委員 園芸振興拡大事業で、数年前から実施しているが、成果は。

当局 平成20年度から実施している。累計で、苗木購入が約2400本、苗木育成が約1万8000本等、着実に成果が見られる。
金田委員 年間予算が20万円であり、園芸

振興をはかるには少ない。事業内容見直しも含め、大幅な予算確保等について考えは。

当局 園芸は、何が売れるか、市場把握や戦略が必要である。JAが主体的に取り組み、成果につながっている。今後、関係機関と連携し、戦略を練り上げて対応を検討する。

農業の担い手支援と指導体制の充実を

金田委員 新規就農者の就業計画の達成状況は。

当局 新規就農者は、一生懸命取り組んでいるが、近年の天候不順や市場価格の変動などで、大部分が計画値に達していない。

金田委員 新規就農者への支援、指導体制やその内容は。

当局 サポートチームを作り、現地確認や経営指導をしている。

首都圏で町産材活用

菅原委員 施政方針に首都圏での町産材利用とあるが、具体的な方策は。

当局 三鷹市や海老名市など縁ある自治体に出向き、公共施設への町産木材の活用など販路拡大や活用ができないか模索している。

イノシシ等被害への対応は

横山委員 有害鳥獣対策はどのような内容か。

当局 イノシシの夏季捕獲、電気柵、狩猟免許取得、くくりわな購入等の補助を行う。来年度は、自家用農家にも電気柵への補助を行う。

横山委員 町内団体が開催した研修会で、多くの学びがあった。どのように活かすか。
当局 研修では、環

境整備の大切さが説かれた。集落単位での協力が必要であり、その取り組みには補助事業等で対応したい。中山地区でモデル事業を行う予定。

学校給食に町内産農産物の使用促進を

小口委員 学校給食民間委託前後の地産地消の数値は。

当局 平成27年度は40・8%、28年度は35・4%で、目標値は達成している。品目は、27年度は33品目、28年度は35品目であり、民間になっても、若干の減はあるが、目標値は達成している。

小口委員 白光園など調理が委託となった町内産を使ってもらいうよう、協力の働きかけを。

当局 町内産を使っていたかどうかよく働きたい。

ため池ハザードマップ

菅原委員 防災重点ため池の5カ所とは。マップ作成後に行う地域住民への周知徹底と自主防災組織との連携は。

当局 鮎貝の中丸ため池、滝野の細野沼と新細野沼、萩野の御影沼、中山の原虚空蔵ため池である。周知は、マップの作成時にワークショップを開催し、情報共有していく。また、町のホームページのほか、住民説明会を開催する。さらに、災害想定訓練を自主防災組織と合同で行う。

林道整備の状況は

菅原委員 林道工事にかかる進捗状況は。

当局 白鷹東部線は、三ツ滝に流れる沢に構造物を設置したが、冬期間に入り中止している。4月以降、順次工



中丸ため池の現状

事が再開する。併せて延長開設工事も順次行われる。令和5年度に向け、路線延長を引き続き要望する。

商工費

運営方法見直しへ

丸川委員 ふるさと応援事業の寄付額が12月で増加した中で、事務委託を直営にする理由は。

当局 平成29年度から商工会に委託してきたが、総務省の基準により返礼率を減らした経過も含め、委託当初と比べ寄付金額と件数が大幅に減っている。